

祥平塾だより

筑後地区

合同審査

三月六日(土)鳥栖祥平塾
(田中又二氏代表)講習会

三月二十日(春分の日)
ス留米マリーナにて
合同審査会と講習会
を開催。昨年は三月、
九月の講習会は

今日はコロナの影響も
あり少年部の参加者は
いつもよりも少なくなったが
充実した稽古でした。
なが全場の多目的ホール
は八日から来年三月末ま
で改修工事が行われる為
休館となります。

代替の道場は決まり
次第お知らせします。

武道場の前には

名横綱双葉山の銅像が
たつ、あります。双葉山は
莊子の「木鷄」(もつけい)を
目標に勵んだそうですが、

「木鷄」(もつけい)と
開鶴を養う名人が王命
によつてこれを飼育しました。

十日程たつて王は「もうやら
とてよいか」と尋ねると
「まだ駄目です。空威張
して無闇に氣ばかり」と

答えた。もう暫らくしてか
ら問うた「もういいか」
すると「まだ駄目です。
コヤツめというところがあり、

最後秀賞

ス留米道場の方々には
準備から後片づけまで

オベソお世話をいただき
まして心より厚く御礼

申しあげます。

次回は終った後

ビルで乾杯したいですね。

三月三十日(日)宇佐会見道
会(永永正光氏代表)の

審査と講習会が同市

武道場にて。特に今回

印象的だったのは家族、
どうだろうかと少々心配
もしておきましたが、皆元
気よくおこないました。
とてもよくできていました。
とておもへてきました。
ここに和やかさが感じられました。

日本農業新聞賞を
かさにかかる所があります

と答えた。暫らくして
「もういいか」というと

「ほつほつようしいでしょう。
相手が挑戦しても少しも

変りません。丁度木彌
りの鶴の様で、ほかの

鶴は恐らく相手に
なりますまい」

④四月の行事予定

RKBラジオでも放送され
ました。

○御研滑話より
「おめでとう」

福岡道場会員、
みずまあきさん(小一)

14 11 熊本道場
18 14 孝美祥雲塾(藤田)

系像地区講習会
22 18 山口祥和会(山田)

大牟田道場
25 22 大牟田道場
小倉祥平塾(甲村)

(音沼守)(音沼守)